

報道各社御中 ← 環境省広報室

鹿児島県の死亡・保護野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査陽性および青森県の死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス簡易検査陽性、茨城県の死亡野鳥におけるA型鳥インフルエンザウイルス遺伝子検査陽性について
(H28.12.2 18:00)

現時点での検査状況等について、以下のとおりお知らせします。

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	確定検査	監視重点区域指定状況
<u>38</u>	鹿児島県	出水市	ナベヅル	11/25回収	陽性	11/28陽性	12/2 高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)と判明	12/2指定
<u>39</u>	鹿児島県	出水市	ナベヅル	11/26保護(死亡)	陰性	11/27陽性	12/2 高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)と判明	12/2指定
<u>40</u>	青森県	青森市	ノスリ	12/1回収	陽性		確定検査機関で検査中	12/2指定
<u>41</u>	茨城県	水戸市	オオハクチョウ	11/29回収	陰性	12/2陽性	確定検査機関で検査中	12/2指定

(太枠内下線が今回の情報です。)

【案件 No.38~39 について】

・鹿児島県出水市において回収・保護された2羽のナベヅル(No.38については11月25日に回収、No.39については11月26日に保護)について、確定検査を鹿児島大学において実施したところ、12月2日に高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)が検出されました。

【案件 No.40 について】

・12月2日、青森県青森市で回収されたノスリ1羽でA型鳥インフルエンザウイルスの簡易検査を実施したところ、陽性反応が出ました。高病原性鳥インフルエンザの確定検査はこれから北海道大学で実施予定です。確定検査には1週間程度かかります。検査の結果、陰性となる可能性もありますが、前倒しの対応として、回収地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化します。確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されない場合は、監視は解除されます。

※ 現時点では、簡易検査により陽性が確認されたものであり、病性は未確定、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたわけではありません。

※ 確定検査の結果、陰性となることもあります。

※ 現在、青森県青森市の家さんにおける高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、青森市に野鳥緊急調査チームを派遣して野鳥調査を実施しているところです（12月1日（木）～5日（月））。本件については高病原性鳥インフルエンザ確定前ですが、地点が近接していることから、合わせて調査を実施し、また、野鳥緊急調査チームの調査期間を6日（火）までに延長いたします。

【案件 No.41 について】

・11月29日、茨城県水戸市で回収されたオオハクチョウ1羽で遺伝子検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルス陽性反応が出ました。確定検査はこれから鳥取大学で実施する予定です。確定検査には1週間程度かかります。検査の結果、陰性となる可能性もありますが、前倒しの対応として、回収地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化します。確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されない場合は、監視は解除されます。

※ 現時点では、簡易検査により陽性が確認されたものであり、病性は未確定、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたわけではありません。

※ 確定検査の結果、陰性となることもあります。

【案件 No.36 について】

新潟県阿賀野市の死亡野鳥（12月1日遺伝子検査陽性、現在確定検査中）における緊急調査チームの派遣について、本来緊急調査チームは高病原性鳥インフルエンザが確定してから派遣するところ、新潟県で家さんにおける高病原性鳥インフルエンザウイルスの複数発生の状況を受けて、確定検査の結果を待たず派遣のための日程調整に着手しています。日程が確定いたしましたら報道発表でお知らせいたします。なお、環境省は12月2日より、回収地点である瓢湖に職員を派遣し、関係機関と連携して野鳥の監視を強化しています。

【ご参考：秋田県飼育施設の案件（No.2、No.3、No.9、No.10、No.34）関連】

秋田県の飼育施設で飼育され、生存している動物（タンチョウ1羽、ニホンイヌワシ1羽、マナヅル1羽、ワオキツネザル2頭）について、簡易検査を実施しすべて陰性でしたが、同施設内で続発している状況を踏まえ、確定検査を実施したところ、12/2にすべて陰性と確定いたしました。なお、No.10、No.34と同室で飼育され、23日に殺処分されたシロフクロウについては検査中です。

（秋田県：同内容について発表済）

なお、野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルについては、国内複数箇所発生時の「対応レベル3」にすでに引き上げております。

【参考：No. 38～39の案件について】

1 主な経緯等

（1）保護・死亡野鳥の確認地点

鹿児島県出水市

（2）経緯

・ナベヅル1羽の死亡個体を回収（No. 38：11月25日）同1羽の衰弱個

体を保護（No. 39：11月26日、その後死亡）

- ・12月2日、鹿児島大学での確定検査の結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明。
- ・12月2日、回収等地点の周辺10Km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・野鳥緊急調査チームを11月22日（火）～25日（金）現地に派遣し、鳥類の生息状況調査、死亡野鳥調査、飼育施設における採水等を実施済。

2 今後の対応

- (1) 野鳥監視重点区域において、野鳥の監視を一層強化。
- (2) 全国での対応レベルは、すでに対応レベル3として監視を強化しており、引き続き監視を強化。
- (3) 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html に掲載) に準じて適切に対応。

【参考：No. 40 の案件について】

1 主な経緯等

(1) 死亡野鳥の確認地点

青森県青森市

(2) 経緯

- ・ノスリ1羽の死亡個体を回収（12月1日）
- ・簡易検査（12月2日）の結果、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が出たと報告があった。
- ・12月2日、回収等地点の周辺10Km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・北海道大学において確定検査を実施予定。

2 今後の対応

- (1) 野鳥監視重点区域において、野鳥の監視を一層強化。
- (2) 全国での対応レベルは、すでに対応レベル3として監視を強化しており、引き続き監視を強化。
- (3) 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html に掲載) に準じて適切に対応。

【参考：No. 41 の案件について】

1 主な経緯等

(1) 死亡野鳥の確認地点

茨城県水戸市

(2) 経緯

- ・オオハクチョウ1羽の死亡個体を回収（11月29日）
- ・茨城県で遺伝子検査を行ったところ、12月2日、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が出たと報告があった。
- ・12月2日、回収等地点の周辺10Km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・鳥取大学において確定検査を実施予定。

2 今後の対応

- (1) 野鳥監視重点区域において、野鳥の監視を一層強化。
- (2) 全国での対応レベルは、すでに対応レベル3として監視を強化しており、引き続き監視を強化。
- (3) 「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.html に掲載) に準じて適切に対応。

【留意事項】

- 鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いします。
- 周辺地域のみならず国民の皆様におかれては、「野鳥との接し方について」(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/20101204.pdf)に十分留意されるようお願いいたします。

【取材について】

- 現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願いいたします。

※ 環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。 (http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成28年12月2日（金）

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

企 画 官：東岡 礼治（内線6475）

鳥獣専門官：根上 泰子（内線6676）

【参考】

今シーズンの鳥インフルエンザ検査状況等（平成 28 年 12 月 2 日 18：00 現在）

番号	都道府県	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	確定検査	監視重点区域指定状況
1	北海道	標津郡中標津町	オオハクチョウ	11/7回収	陰性	11/14陽性	11/21 鳥インフルエンザウイルス（H6N2亜型）と判明 *高病原性ではない	11/14 指定 11/21 12時解除
2	秋田県	秋田市	コクチョウ（飼育下）	11/15死亡	陽性	実施しない	11/21 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/15 指定
3	秋田県	秋田市	コクチョウ（飼育下）	11/17死亡	陽性	実施しない	11/21 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/15 指定
4	鹿児島県	出水市	環境試料（ねぐらの水）	11/14採取			11/18 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/18 指定
5	鹿児島県	出水市	ナベツル	11/18回収	陰性	11/19陽性	11/22 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/19 指定
6	鹿児島県	出水市	ナベツル	11/19回収	陰性	11/19陽性	11/24 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/19 指定
7	鳥取県	鳥取市	コガモ糞便	11/15採取			11/21 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/21 指定
8	鳥取県	鳥取市	マガモ糞便	11/6採取			11/21 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/21 指定
9	秋田県	秋田市	コクチョウ（飼育下）	11/17死亡（殺処分）	陰性	11/21陽性	11/28 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/15 指定
10	秋田県	秋田市	シロフクロウ（飼育下）	11/23死亡	陽性		11/30 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/15 指定
11	岩手県	盛岡市	オオハクチョウ	11/23死亡	陽性		11/28 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N6亜型）と判明	11/23 指定
12	鹿児島県	出水市	ナベツル	11/20保護	陰性	11/21陽性	11/24 高病原性鳥インフル	11/24 指定

							エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	
13	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/20 保護	陰性	11/21 陽性	11/24 高病 原性鳥インフル エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/24 指定
14	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/21 回収	陰性	11/22 陽性	11/24 高病 原性鳥インフル エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/24 指定
15	宮城県	登米市	マガン	11/21 回収	陰性	11/24 陽性	11/29 高病 原性鳥インフル エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/24 指定
16	鳥取県	米子市	コハクチ ョウ	11/20 回収	陰性	11/25 陽性	11/30 高病 原性鳥インフル エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/25 指定
17	鳥取県	米子市	コハクチ ョウ	11/20 保護	陰性	11/25 陽性	11/30 高病 原性鳥インフル エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/25 指定
18	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/21 回収	陰性	11/23 陽性	11/28 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/28 指定
19	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/22 保護(死 亡)	陰性	11/24 陽性	11/28 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/28 指定
20	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/23 回収	陰性	11/24 陽性	11/28 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/28 指定
21	鹿児島 県	出水市	ヒドリガ モ	11/23 保護(死 亡)	陰性	11/24 陰性	11/28 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/28 指定
22	鹿児島 県	出水市	ヒドリガ モ	11/23 回収	陰性	11/24 陽性	11/28 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/28 指定
23	鹿児島 県	出水市	カモ類糞 便	11/20 採取			11/28 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/28 指定
24	鳥取県	鳥取市	ヒドリガ モ/ヨシガ モ糞便	11/18 採取			11/28 高病 原性鳥インフル エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/21 指定
25	北海道	苫小牧 市	ハヤブサ	11/24 回 収	陰性	11/29 陽性	確定検査機関で 検査中	11/29 指定

26	青森県	鶴田町	オオハク チョウ	11/24 回 収	陰性	11/29 陽性	確定検査機関で 検査中	11/29 指定
27	宮城県	栗原市	マガン	11/26 回 収	陰性	11/29 陽性	確定検査機関で 検査中	11/29 指定
28	鹿児島 県	出水市	オナガガ モ	11/22 回 収	陽性	11/24 陽性	11/29 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/29 指定
29	鹿児島 県	出水市	マナツル	11/22 回 収	陽性	11/24 陽性	11/29 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/29 指定
30	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/23 回 収	陽性	11/26 陽性	11/29 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/29 指定
31	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/23 保 護	陰性	11/25 陽性	11/29 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/29 指定
32	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/23 保 護(死亡)	陽性	11/26 陽性	11/29 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/29 指定
33	鹿児島 県	出水市	ナベツル	11/24 回 収	陽性	11/26 陽性	11/29 高病 原性鳥インフル エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/29 指定
34	秋田県	秋田市	シロフク ロウ(飼育 下)	11/23 死 亡	陰性		11/30 高病 原性鳥インフル エンザウイルス (H5N6亜型) と判明	11/15 指定
35	兵庫県	小野市	カモ類糞 便	11/14 採 取	陽性	11/28 陽性	12/1 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明	12/1 指定
36	新潟県	阿賀野 市	コハクチ ョウ	11/27 回 収	陰性	12/1 陽性	確定検査機関で 検査中	12/1 指定
37	福島	福島市	オオハク チョウ	12/2 回 収	陽性		確定検査機関で 検査中	12/2 指定
<u>38</u>	<u>鹿児島 県</u>	<u>出水市</u>	<u>ナベツル</u>	<u>11/25 回 収</u>	<u>陽性</u>	<u>11/28 陽性</u>	<u>12/2 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明</u>	<u>12/2 指定</u>
<u>39</u>	<u>鹿児島 県</u>	<u>出水市</u>	<u>ナベツル</u>	<u>11/26 保 護(死亡)</u>	<u>陰性</u>	<u>11/27 陽性</u>	<u>12/2 高病原 性鳥インフルエ ンザウイルス (H5N6亜型) と判明</u>	<u>12/2 指定</u>
<u>40</u>	<u>青森県</u>	<u>青森市</u>	<u>ノスリ</u>	<u>12/1 回 収</u>	<u>陽性</u>		<u>確定検査機関で 検査中</u>	<u>12/2 指定</u>
<u>41</u>	<u>茨城県</u>	<u>水戸市</u>	<u>オオハク チョウ</u>	<u>11/29 回 収</u>	<u>陰性</u>	<u>12/2 陽性</u>	<u>確定検査機関で 検査中</u>	<u>12/2 指定</u>

※グレー網掛けとなっている箇所は、野鳥監視重点区域を既に解除した事例です